

大草谷津田いきものの里 自然観察会

虫さん花さんもう起きた？

金子美幸（山武市）

日 時：2018年3月18日（日）10：30～12：00 天気：晴れ

参 加 者：24名（大人14名、子ども10名）

担当指導員：松本美千代 金子美幸

今年は寒い冬だった。このところ急に暖かい日が続いたためか、植物（花さん）や動物（虫さん）もいろいろな動きがあった。6日の下見では見られなかったカントウタンポポやジロボウエンゴサク、ヒガンマムシの花やアズマヒキガエルの卵が沢山みられた。暖かい日差しとカエルさんが活動を始めたからか？ヤマカガシが冬眠から目覚めていた。朝の下見時に林縁に逃げ込む姿を見たので注意事項に加える。

今回、観察会は初めてという方が多かった（6組、12名）。パンフレットを渡す。参加者は市政だよりをみて参加したとのこと。小さな子も長靴をはき、準備していた。

植物は同じ場所で姿が見られるが動物は難しい。それでも植物と同じように大草の中で卵や幼虫（体）、蛹、成虫（体）など、様々な形態で寒い冬を過ごしてきた。暖かくなったので活動を始める（突然現れたものでない）。そんな姿を知ってほしいと思い、冬の時の姿とおそらく今日見られるであろう生き物を書いた用紙を家族に1枚渡し、みつけたらチェックしてもらうようにする。

広場では始まる前に小さな参加者がイタドリハムシをみつけていた。他にはツクシ・フキノトウ・ヒメオドリコソウ・フラサバソウ・オランダミミナグサ・ミチタネツケバナ・セイヨウタンポポ・ヘビイチゴ・イヌシデの若葉・アオキの蕾・ナミテントウ・オオカマキリやコカマキリ・ハラビロカマキリの卵があった。

中に入ってニワトコ蕾・ドングリの芽生え・タチツボスミレ・ジロボウエンゴサク・コハコベ・ケキツネノボタン・カントウタンポポ・ビロウドツリアブ・キタキチョウ・アメンボ・アズマヒキガエル卵・ニホンアカガエルのオタマジャクシがいた。シュレーゲルアオガエルの声も聞こえた。

田んぼのあぜ道でノミノフスマ・ナズナ・タネツケバナ・キベリアオゴミムシ・コガタルリハムシ・タンポコオロギ幼虫（幼虫越冬）・水の中のアズマヒキガエル・杭に止まるシロフフユエダシャクがみられた。このシャクガは杭の色と同化していて、年中の虫好きの男の子が発見しなかったら気が付かなかった。

大草の一番良い景色が見られる東邦大田んぼの前で、見つけた生き物を確認して感想を聞き解散する。「道端でもいろんな植物が見られることが分かった」「初めて見た花があった」など各自ふり返り確認する姿が見られた。

